平成29年
第8回那須塩原市教育委員会
定例会 会議録

那須塩原市教育委員会

〔○期日：平成29年 7月27日（木）
○会場：本庁舎4F 第4委員会室〕

那須塩原市教育委員会定例会

1 期日

- 平成29年 7月27日(木)
 - ・開会：午後 2時00分
 - ・閉会：午後 4時10分

2 会場

- 本庁舎 4F 第4委員会室

3 出席委員

- 教育長 大宮司 敏夫
- 委員 大澤 真弓
- 委員 神島 仁誓
- 委員 臼井 祥朗
- 委員 田村 伸之

※前回会議録署名委員

- ・田村 伸之 委員
- ・大澤 真弓 委員

4 説明のため出席した事務局職員

- 教育部長 稲見 一志
- 教育総務課長 富山 芳男
- 学校教育課長 小泉 秀夫
- 生涯学習課長補佐 小池 久史
- スポーツ振興課長 後藤 修

5 事務局職員

- 教育総務課長補佐 平井 克巳
- 教育総務課総務係主査 栗川 成人

6 傍聴人

- 4人

7 教育長報告

- 非公開

8 付議事件

- 議案第1号 那須塩原市奨学生募集要項について
(教育総務課) …可決
- 議案第2号 平成30年度使用教科用図書の採択について
(学校教育課) …可決

- 報告第1号 区域外就学及び指定校変更について
(学校教育課)
- 報告第2号 平成29年度準要保護児童生徒の認定について
(学校教育課)
- 報告第3号 那須塩原市青少年健全育成協議会委員の任命について
(生涯学習課)

- 陳情審査 学校給食費の無料化実施についての陳情について …不採択

■ 会議録

1 開会

- 午後2時00分、大宮司教育長が平成29年第8回那須塩原市教育委員会定例会の開会を宣言する。

それでは、平成29年第8回那須塩原市教育委員会定例会を開会いたします。
次第に従いまして進めさせていただきます。

2 教育長挨拶

○大宮司教育長

梅雨が明けたはずですが、梅雨の戻りというような感じで少しぐずついた天気が続いております。今月20日で夏休み前の学校・教育活動が一区切りつきまして21日からは夏休みに入りました。夏休みに入りましてすぐに中学校の総合体育大会がございました。3年生にとっては最後の大会になりますけれども、今年は、那須地区学校体育連盟70周年という記念大会でもありまして、総合開会式が行われました。大会に出場する生徒全員が入場行進をするというような節目の年でございました。私も出席いたしましたが、学校毎に教頭先生あるいは教務主任の先生が先導し、2,500人の生徒の入場ということで、なかなか壮観なものがあり、しっかりとした開会式でありました。既に大会の方は終わりました、今週末からは県大会となっております。正確な結果につきましては、手元にはございませんが、かなりの学校のかんりの部が那須地区を代表して県大会に出場し、上位に入るだろうと思います。その中を勝ち抜いていけば関東大会、そして全国大会に出場となりますので、期待をしているところでございます。

また、夏休み前につきましても各学校におきまして、適切な事前指導が行われたものと思っておりますし、委員の皆さま方も他市町から転入或いは新任の校長の学校については訪問いただきましたので、それぞれの学校の状況についてはつぶさに捉えられているのではないかと思っております。

夏休みに入りましてから約1週間が経ちましたが、大きな事件事故の報告はございません。このまま無事に夏休みが終わってくれば良いと思っております。

さて、本日は、付議事件が6件ございます。御審議等よろしくお願いいたします。

3 会議録の承認

- 大宮司教育長が前回会議録の承認を求めたところ、内容に異議なく田村委員及び大澤委員が指名され、会議録に署名を行った。

4 教育長報告

○大宮司教育長

続きまして、次第の4「教育長報告」に入ります。ここで皆さんにお諮りいたします。教育長報告につきましては、特定の個人に関する情報が含まれておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定に基づき、非公開といたしたいと思っております。なお、非公開とする際は、出席委員の3分の2以上による議決が必要となりますが、非公開とすることに御異議ございませんでしょうか。

○全委員

異議ありません。

○大宮司教育長

それでは、全会一致でございますので、教育長報告は非公開とさせていただきます。

(省略～非公開)

(教育長報告終了)

(暫時休憩)

5 付議事件

<議案第1号について>

○大宮司教育長

それでは、休憩前に続きまして会議を進めたいと思っております。

会議次第5の「付議事件」に入ります。

はじめに議案第1号「那須塩原市奨学生募集要項について」を議題といたします。事務局から説明をさせます。

はい、教育総務課長。

○教育総務課長

【提案理由】

本案につきましては、那須塩原市奨学生を募集するに当たり、那須塩原市奨学生選考委員会の意見を踏まえ、その実施に関し必要な事項をまとめた募集要項を別冊のとおり作成しましたので、教育委員会の議決を求めます。

－資料に基づき議案の内容を説明－

○大宮司教育長

事務局からの説明が終わりました。

委員の皆さま方からの御意見、御質問等ございましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。

はい、臼井委員どうぞ。

○臼井委員

奨学金をもっと借りやすいものにして、なるべく数多くの方に有効に利用してもらいたいという話が出てから3年が経過し、那須塩原型として、中身がとっても良くなってきたなと思いました。前回、いろいろと条例等で決めた時にも、なかなか気が付かなかったことが出てきている中で、今回は工夫された良い案かなと思います。まだ、改善の余地があるということをおっしゃっておられましたけれども非常に整ってきたなと思いました。那須塩原はこれだけALTの先生を導入し、また中学生の海外派遣を行い、さらにイングリッシュ・サマースクールも大変盛況の中で実施しております。心は故郷に向けて、目は海外に向けた生徒さんづくりのために、ぜひ、今後も良い奨学金の制度になればと思います。質問というよりは感想でございます。

○大宮司教育長

ほかにいかがでしょうか。

はい、神島委員どうぞ。

○神島委員

大澤委員共々、奨学生選考委員会の委員としまして出席していたものですから、委員会での意見等をお話させていただきます。委員からは、英検準1級の資格の他にもTOEFLやTOEIC、IELTSの試験結果を付け加えることについての意見があり、また、高等学校では指導要録を卒業後5年間は管理するがそれ以降は廃棄してしまうとの御指摘をいただいて、事務局で工夫し（案）ができたところでございます。国内の給付、貸与については、大変申し込みが多くて非常に活気を呈すという状態ですけれども、海外については、給付は2年間行ってゼロ、貸与については昨年、一昨年1人ずつということですので、門戸がもう少し広くなれば良いかなというところがあります。条例で資格要件を準1級としているところを段々に外して欲しいと意見も申し上げました。今回はいろいろと工夫していただいて、例えば自己推薦書も4項目に分けて書きやすいようにしましたので、今年あたりできれば給付の申請があり、また、貸与についても数が多くなればなと思っております。

今後におきましても、さらに活用が図られるよう、できれば少しハードルを低くするような条例に改正する等そういう方向で進んでいただければなと思うところです。

○大宮司教育長

ほかにいかがでしょうか。

はい、田村委員どうぞ。

○田村委員

私も神島委員と同じようなところがありますが、資格については筆記試験よりも会話やヒアリングを重視した方が良いかと思えます。会話やヒアリングが出来れば十分コミュニケーション能力はありますし、普段の生活とか学友との会話ができれば自然と筆記能力とかついてきますので、そういった意味ではコミュニケーション能力が基準の一つであっても良いのかなと思っているところがあります。なかなか難しいとは思いますが将来的には資格基準を見直し、海外に行って自分のため、人のために役立とうと思う人たちの気持ちも含めもう少し門戸を広げていただきたいです。

○大宮司教育長

はい、教育部長

○教育部長

海外留学についての本市奨学金については、3年前に教育委員会に諮り、条例において英検準1級という資格の基準を設けております。条例でございますので、議会の議決を得ております。この基準を改正するには議会での議決を得ることが必要となりますので、今年度のうちにある程度形を作りまして、3月議会に条例改正として上程できればと考えております。その際には教育委員会に事前に諮りますので、またその時に御意見等をいただきたいと思っております。

皆さま方が利用しやすい形に、事務局としましても考えておりますので、その節には委員の皆さまからも御意見等をいただきたいと思っております。

○大宮司教育長

加えまして、今、新聞等メディアで情報提供がされておりますが、いわゆる大学入試改革ということで、そこでも英語の力というものについて現在のところ国としてもいろんな資格試験の結果を入試の結果として活用する方向で動いております。今まで語学力というものを英検というものに頼ってきたわけでありすけれども、語学力ということよりは我々としては、田村委員から意見のありましたコミュニケーション力ということで、いかに海外での生活においてきちんと相手と意思の疎通が図れるかというような力がまさに必要だと思っておりますし、国の方でも様々なコミュニケーション力を図るテストというものを考えたりしています。現在のところ紹介されていますのが、どちらかと言うとビジネスの世界とか業種のある程度確定されたところでの力を見るための試験ですが、今後変わっていくことも想定されますので、部長が先ほど話したとおり、この奨学生募集要項につきましても随時見直しを行い、より現実に合ったもの

に変えていくという柔軟な姿勢は我々も持っていたいと考えているところです。

ほかにいかがでしょうか。

はい、大澤委員どうぞ。

○大澤委員

先ほど、奨学生選考委員会においての話は神島委員よりお話いただきましてけれども、もう一点委員さんから意見がありましたのが、先ほど教育長がおっしゃったように、ビジネスで語学を必要とするために留学を希望する生徒のためだけではなく、例えば、農業などの分野でも海外で活躍してみたいという子ども達のためにも奨学金が生かされたらいいねという話でございます。私も感銘を受けたところでありまして、英検準1級の資格をこれから見直していただくことがそこにもつながっていくのかなと思いました。

○大宮司教育長

そのほか、皆さま方からございますか。

それでは、御意見御質問がないようですので、お諮りしたいと思います。

議案第1号「那須塩原市奨学生募集要項について」は原案のとおり可決すること御異議ございませんか。

○委員全員

ありません。

○大宮司教育長

異議なしということでありますので、原案のとおり可決いたしました。

<議案第2号について>

○大宮司教育長

次に議案第2号「平成30年度使用教科用図書の採択について」を議題といたします。事務局から説明させます。

はい、学校教育課長。

○学校教育課長

【提案理由】

平成29年7月6日に開催された那須塩原市・那須町採択地区協議会から、平成30年度に使用する小学校・義務教育学校（前期課程）教科用図書、中学校・義務教育学校（後期課程）教科用図書及び小・中・義務教育学校特別支援学級用一般図書の選定結果の送付を受けたので、別紙のとおり採択することについて、教育委員会の議決を求める。

－資料に基づき議案の内容を説明－

○大宮司教育長

事務局からの説明が終わりました。

今回は特に小学校、義務教育学校前期課程用の道徳について初めて選定ということになりましたので、提案させていただきました教科書につきまして、委員の皆さまのお手元にございますので、あらためて、先ほど課長が特徴的なものとして述べました事につきまして、少し時間を取りますので中をもう一度ご覧いただければと思います。

それでは、委員の皆さま方から御意見、御質問等ございましたら、お願いいたします。

いかがでしょうか。

はい、大澤委員どうぞ。

○大澤委員

道徳の教科書につきまして初めての採択ということで、事務局の方から2か月ほど前に一式各図書をお預かりさせていただいて、じっくりと拝見させていただくことができました。どこの図書も工夫されていて、すごく見やすく大人の私が見ても興味をそそられるようなものでありましたけれども、今回の選定理由として、主題名が記載されていなく先入観を持たずに自由な発想が養えるという事となるほどと思いました。私も良く見ていたのですが、シンプルでとても見やすく、中には別冊でワーク式のノートとかも付いているところもありましたけれども、そういうものに左右されずに本当に子ども達が自由な発想、自由な会話で1つの項目について話し合っていける主体的な内容になれるのではないかと想像でき、すごく良い選定だと思いました。

○大宮司教育長

ほかにいかがでしょうか。

はい、臼井委員どうぞ。

○臼井委員

今、大澤委員からお話がありましたように、5月に箱一杯の道徳の教科書をお預かりしまして目を通させていただきました。どれも工夫があつて絵や写真、文字の大きさから紙の質まで大変工夫があつておもしろいなと思って拝見をいたしました。その中から大変良いものを選ばれたと思いました。選定に関しては、委員の先生方も普段のお仕事を持ちながらで大変な御努力だったとお察しいたしますけれども、先ほど説明がありました、先入観を持たないという視点での選定ということで、なるほどと思いました。

新しい教育課程の中でぜひ心を育てるようなお子さんを教科書でつくっていただけたら大変ありがたいなと思いました。

○大宮司教育長

ほかにいかがでしょうか。

はい、神島委員どうぞ。

○神島委員

道徳の教科で一番懸念されるのが特定の考え方とか特定の価値観とかを児童、生徒へ押し付ける、そういったことが問題になるかと思いますが、この教科書には一切ないので大変良いものを選ばれたのかなと思うところです。他の教科書を見ますと、最初にそういうことが出ているのが多かったと思いますので、教科書選定委員の方も良いものを選んだと思うところです。

○大宮司教育長

ほかにいかがでしょうか。

はい、田村委員どうぞ。

○田村委員

私は教科書採択委員になっていましたけれども、実は別な教科用図書の方に関心を持っていました。大澤委員から話のありました別冊が付いている図書さんの方が、その別冊を使って先生と保護者と本人といったところでのコミュニケーションの取り方もあるなどと思って良いかなと気持ちは傾いていました。

私は、道徳ということに対して一つの疑問がありまして、道徳をやることによって個性を失ってしまうとか、先ほどの先入観を持たせてしまうとか協調性がなくなってしまうとかを心配していました。

その中で考えを変えましたのが、調査員から説明を受けた選定理由です。そこで、今回選定の図書に気持ちが固まりました。大変良い図書を選定していただいたと思っております。

○大宮司教育長

ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

ないようですので、それではお諮りいたします。議案第2号「平成30年度使用教科用図書の採択について」は原案のとおり可決することで御異議ございませんか。

○委員全員

ありません。

○大宮司教育長

異議なしということですので、原案のとおり可決いたしました。

<報告第1号について及び報告第2号について>

○大宮司教育長

次に報告に入ります。報告第1号「区域外就学及び指定校変更について」及び報告第2号「平成29年度準要保護児童生徒の認定について」、一括して事務局

から説明させます。

はい、学校教育課長。

○学校教育課長

【報告理由（報告第1号）】

申請のあった区域外就学及び指定校変更について、審査結果を教育委員会に報告する。

【報告理由（報告第2号）】

生活保護法第6条第2項に規定する要保護者に準ずる程度に困窮している者からありました準要保護認定の申請について、内容を審査した結果、準要保護者に認定することに決定したので、教育委員会に報告する。

－資料に基づき報告事項の内容を説明－

○大宮司教育長

事務局の説明が終わりました。

報告第1号、第2号併せまして委員の皆さまから御質問、意見等ありましたら、お願いいたします。いかがでしょうか

よろしいでしょうか。

○委員全員

はい。

<報告第3号について>

○大宮司教育長

次に報告第3号「那須塩原市青少年健全育成協議会委員の任命について」を事務局から説明させます。

はい、生涯学習課長補佐。

○生涯学習課長補佐

【報告理由】

那須塩原市青少年健全育成協議会条例第3条及び同条例施行規則第2条の規定に基づく協議会委員の任命について、未選出であった団体からの委員が決定したため報告する。

－資料に基づき報告事項の内容を説明－

○大宮司教育長

事務局の説明が終わりました。

委員の皆様から御質問、意見等ありましたら、お願いいたします。いかがでしょうか

○委員全員

ありません。

<陳情審査について>

○大宮司教育長

それでは、次に付議事件6の陳情審査に入ります。

本陳情は、「学校給食費の無料化実施についての陳情」でございます。

陳情の内容につきましては、既に配布をしております本日の議案書に写しがございます。

本市における給食費の現状についてですが、まず、給食費の考え方につきましては、学校給食法第11条第2項及び同法施行令第2条の規定に基づきまして、保護者には給食に係る食材費について御負担をいただいているところであり、また、生活困窮世帯への対応につきましては、就学援助費の認定等によりまして、給食費の全額又は半額を補助する形で減額をしているところが給食費についての現状です。これらにつきましては、既に委員の皆さまに資料を配布させていただいておりますので確認をさせていただいているものと思っております。

なお、県内の自治体におきましては、大田原市において給食費無料化の取り組みを行っていますことを参考に報告いたします。

それでは、委員皆さまの御意見を御伺いする前に、これまでの資料等及びただ今の説明に関しまして、前もって事務局に確認しておきたい事項等ございましたら先にお聞きをしたいと思います。その後、議論いただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

はい、大澤委員どうぞ。

○大澤委員

本市における給食費の考え方について説明がありましたけれど、本市の給食事業に関しまして、年間に係る全体経費ですとか、保護者が負担しております給食費がいくら位なのかお示しいただきたい。

○大宮司教育長

はい、教育総務課長

○教育総務課長

まず、給食事業に関する全体の事業費でございますが、平成28年度で申し上げますと、食材費以外の人件費、修繕費等といったところで約4億2,000万円、そこに食材費が入り全体では約9億6,000万円です。

給食費については、保護者の皆さまに御負担いただいておりますのが、小学生が1食250円で、平成29年度の給食日数が202日になりますので年間5万500円、中学生が1食290円になりますので年間5万8,580円を

負担いただくこととなります。

○大宮司教育長

よろしいでしょうか。

そのほか、ございますか。

はい、神島委員どうぞ。

○神島委員

先ほどの報告第2号にて、準要保護児童生徒の認定について説明がありましたが、要保護、準要保護を受けますと、その支援として給食費や教材費等が含まれているかと思いますが、どの位の児童生徒が受けているのか、また、金額は全体でいくら位なのでしょう。

○大宮司教育長

はい、教育総務課長

○教育総務課長

平成28年度における児童生徒の人数は約1,250人、給食費への補助額は全体で約5,200万円でございます。

○大宮司教育長

よろしいでしょうか。

そのほか、ございますか。

はい、田村委員どうぞ。

○田村委員

給食費についてですが、就学援助を受けた方について今質問がありましたが、給食費を滞納している方もいるかと思いますが、前にも説明があったことがありましたが現在那須塩原市内には給食費の滞納者はおりますか。

○大宮司教育長

はい、教育総務課長。

○教育総務課長

給食費の滞納者はございます。人数でいいますと25人です。参考までに申し上げますと収納率は、99.88パーセントです。

○大宮司教育長

はい、田村委員どうぞ。

○田村委員

滞納の理由は具体的に把握されていますか。

○大宮司教育長

はい、教育総務課長。

○教育総務課長

経済的に苦しければ、先ほど申し上げた就学支援を学校で説明しております。

そういった中で滞納になるということは経済的な理由もあるかもしれませんが、それ以外のいわゆるモラル的な要素が大きいと思っております。

○大宮司教育長

はい、田村委員どうぞ。

○田村委員

故意にということが多いということですか。

○大宮司教育長

はい、教育総務課長。

○教育総務課長

故意にというのものもあるかと思えます。そういう場合には裁判という形をとっています。その中で納められる方は納めておりますので、決して経済的な理由だけではないと思えます。

○大宮司教育長

よろしいですか。

そのほか、ございますか。

はい、臼井委員どうぞ。

○臼井委員

先ほど、教育長のお話の中で、隣接の大田原市の話が出ました。全国には給食費を無料化している自治体もいくつかあるようでございますけれども、小さい村とか町とか離島とかそういうところが多いようなお話を聞いたことがございます。大田原市は選挙公約で給食費を無料化したというのは私どもも存じているのですけれども、参考まで大田原市で給食費を無料化するにあたりにかほどかかっているのでしょうか。

○大宮司教育長

はい、教育総務課長。

○教育総務課長

大田原市の場合、約3億円位と伺っております。

○大宮司教育長

よろしいでしょうか。

そのほか、ございますか。

はい、神島委員どうぞ。

○神島委員

本市で給食費を無料化した場合に概算でどの位かかるのでしょうか。

○大宮司教育長

はい、教育総務課長

○教育総務課長

児童生徒数によって変わってきますが、平成29年度で算出した場合、約5億2,000万円とみております。

○大宮司教育長

よろしいでしょうか。

そのほか、ございますか。

はい、田村委員どうぞ。

○田村委員

無料化にするには5億2,000万円という金額が市の負担としてかかってくるということですが、それだけの財源をどこからか集めることになってくるのか、市民税からということもあるのでしょうか。

○大宮司教育長

はい、教育部長。

○教育部長

ただ今の5億2,000万円という金額につきましては、国の補助はないと思っております。ということは一般財源でございますので、市税から捻出せざるを得なくなります。

国において給食費に関し全国的に調査をするということを文部科学省で話をしておりますが、まだその調査には至っておりません。給食費の無料化に関する市議会の一般質問でも今後、文部科学省の動向を見ながらということで答弁をしているところでございます。

ただ今申しあげました財源につきましては、いろいろな考えもあるでしょうし、実施するとなった場合には、議会でも議論がされるということになってまいります。

○大宮司教育長

はい、臼井委員どうぞ。

○臼井委員

那須塩原市になりましてから10年以上経ちますが、給食費は一度だけ値上げをしたと思います。消費税率が上がった時にも、何とか努力してみようということで、その前に一度上げただけでした。たぶん、給食費は他と比べても随分抑えているのではないかと思います。たぶん、給食費は他と比べても随分抑えているのではないかと思います。たぶん、給食費は他と比べても随分抑えているのではないかと思います。たぶん、給食費は他と比べても随分抑えているのではないかと思います。

○大宮司教育長

はい、教育総務課長。

○教育総務課長

現在の給食費になりましたのが、平成22年4月からでございます。給食費の

県内の順位ですけれども、小学校が上から9番目、中学校が上から7番目でございますが、上と下とはそれほど差がないのが現状でございます。

○大宮司教育長

はい、臼井委員どうぞ。

○臼井委員

もちろんこういう時代ですので、お米とかお野菜とかはなるべく地産地消でやっているという事でよろしかったでしょうか。

○大宮司教育長

はい、教育総務課長。

○教育総務課長

県内産食材の地産地消については、現在約39パーセントで国が目標にしている30パーセントはクリアしていますが、県では50パーセントを目指しておりますので、50パーセントに向けて取り組んでいきたいと思っております。

○大宮司教育長

はい、臼井委員どうぞ。

○臼井委員

震災前には西那須野の共同調理場を新設いたしまして、現在、共英共同調理場を建設しているところかと思えます。給食費とは別ですが給食を提供する環境整備という意味で共英共同調理場の建設全体でどの位かかるものなのか。

○大宮司教育長

はい、教育総務課長。

○教育総務課長

今建設しております共英調理場ですけれども、厨房機器も含めまして約20億円を見込んでおります。

○大宮司教育長

よろしいでしょうか。

そのほか、ございますか。

はい、田村委員どうぞ。

○田村委員

食材については地産地消で30パーセントを超えていると説明がありましたが、学校給食で使う食材と我々がスーパー等で購入する野菜の基準とは違っていてより厳選されたものなのか。

○大宮司教育長

はい、教育総務課長

○教育総務課長

一般的なものと同じです。主な野菜につきましては、農協と単価契約をして

納入いただいております。その他は学校給食会からの納入になります。

○大宮司教育長

よろしいでしょうか。

では、この後は、意見交換という形で進めてまいります。

はい、臼井委員どうぞ。

○臼井委員

今回、給食費の無料化という陳情が提出されてまいりまして、前回の委員会の時にも陳情がございましたが、陳情というのは、市民の方の大切な御意見でございますので、私ども教育委員も陳情を審査するにあたって真剣にいろいろと給食というものを考えたところでございます。

私は結果から先に申し上げますと、お気持ちはわかるのですが、受益者負担かなというのが私の考えでございます。先ほども本市に1万人の児童生徒がいる中で先ほどの説明ですと1,250人保護を受けているということで、収入が低い世帯には、そういうところでカバーできているのかなという考えです。ただ、最近マスコミでも貧困という言葉が出てきますが、私どもの市にも子ども食堂をやっているボランティアの方たちがいるのは私たち教育委員も存じあげているところでございまして、貧困がありませんという考えは持ってはおりません。そういった中で、先日、小中学校10校を教育委員が訪問しましたが、ある学校の校長先生から最近学校で行ったアンケートの結果を伺いました。その学校では小学校の1年の低学年に就寝時間が遅いというような結果が出てきたという話でした。小学校1年生になったばかりですが、10時過ぎに就寝するのが1年生で12パーセント、2年生だと24パーセントというお話でした。びっくりしたのが、12時過ぎに就寝というのが1年生で5パーセント、2年生で4パーセントというお話がありまして、朝起きられない。朝ごはんを食べる時間がない。また、登校班にも間に合わないので結局は親御さんがぎりぎりに送ってくる。中には、担任の電話で親御さんが起きたなどのお話を聞きました。朝ごはんのお話も陳情には出ており気持ちもわかりますが、その前に御家庭で生活習慣を直すというところが先ではないかなという気がいたします。

那須塩原市もいろいろな財源の中でいろいろな行政の事業を行っていますけれども、受益者の負担で賄うべきところではないかというのが私の意見であります。

○大宮司教育長

ほかにいかがでしょうか。

はい、神島委員どうぞ。

○神島委員

教育長からの説明の中で、食材費については基本的に学校給食法で保護者負担という大前提があるわけですが、それにもかかわらず、市町村の規模にもよるでしょうけれども比較的小さい市町村では若干の給食費の無料化という施策が進められているように聞いておりますけれども、ただ本市の場合には1万人からの児童生徒がおられるというのもありますし、更には先ほどの要保護、準要保護に準ずる程度に困窮している世帯については、市の方で経済的な就学支援をしておるといことでございまして、そこである程度はカバーできているのかな、給食費についても先ほどの回答でそのように感じております。また、確かにいろいろな面で無料化実施ということも一つの方策としてはあるのでしょうけれども、今のところは、そこまでは必要ないのかなと思うところでございます。

○大宮司教育長

ほかにいかがでしょうか。

はい、田村委員どうぞ。

○田村委員

私も神島委員の意見にほぼ同じです。

那須塩原市の準要保護のハードルが高いわけではないと思っております。これだけ約1,250人の方が保護を受けているということで、ある程度、貧困世帯の方には手当てがされているのかなと思っております。無料化するにあつての5億2,000万円というのはそう簡単に捻出できる財源ではないので、理想としては無料化という時代が来るかとは思いますが、今の市の状況と市が行っている手当てから考えれば、私はこのまま手当てを落とすことなく継続できれば良いのではと思っております。

○大宮司教育長

ほかにいかがでしょうか。

はい、大澤委員どうぞ。

○大澤委員

陳情書の内容にございますように朝食抜きの子や1日の食事の中で学校給食が一番充実している家庭ですとか、夏休みが終わると痩せて登校するお子さんがいるのは夏休みには給食がなく食事が十分ではないということが書かれており、学校給食の重要性の高さを痛感したところであります。

しかしながらですね、私が感じましたのは、これらの理由がはたして給食費を無料化したことにより解消されるものだろうかという疑問を持ったところです。先ほど、臼井委員からお話がありましたけれども、朝食がなぜ抜かれているのかというところで、生活習慣の崩れから子どもが朝起きてすぐに食事がとれる体が整わないとか、時間がないとかそういったところは往々にしてあると

思います。そういったことを踏まえますと給食費無料ということで解消される問題ではなく、まずは保護者の意識改革、どれだけ食というものが大切かということをもう一度しっかりと認識してもらい、そこから子ども達の食生活を改善していく方が先なのかなと思っております。

先ほど、収納率は99、88パーセントという数字がございました。ということは、支払う能力は保護者にはあると判断できます。もちろん貧困世帯、困窮世帯には市からの援助がでているわけですから、援助のもらえないところの収納率として99、88パーセント、これらの世帯も含めて一気に給食費を全額市が援助するというのは、はたしてどうなんだろう、そのほかにも、本来、たくさん援助したいところが教育委員をしていますとすごく見えてまいります。毎月報告にあがります、児童虐待やネグレクトや家庭内でDVを受ける子ども達の精神的なケアなどにつきましても、本当に早急に対応が必要だと思っているところです。そういう意味でもこれは単年度の事業ではないわけなので、もっと精査して市を挙げて子ども達の支援を考えていくところではないかと感じました。

○大宮司教育長

それぞれ委員から御意見が出たわけですが、加えて何かございましたらよろしくをお願いします。

よろしいですか。

○委員全員

はい。

○大宮司教育長

それでは陳情につきましての採択、不採択についての採決を行いたいと思います。

まず、本陳情につきまして、採択すべきものとすることに賛成する委員の挙手を求めます。(挙手なし)

次に、本陳情につきまして、不採択とすべきものとすることに賛成する委員の挙手を求めます。(委員全員挙手)

全員が不採択ということでございますので、本陳情につきましては不採択とすることに決しました。

それでは以上で「学校給食費の無料化実施についての陳情」の審査を終了いたします。

それでは、本日予定されました付議事件の審議は、全て終了いたしました。

以上をもちまして、第8回教育委員会定例会を閉会といたします。

長時間にわたり御審議いただき、誠にありがとうございました。